

市町村合併に関するアンケート調査【中間集計結果】

1 現在（平成14年12月17日）の回収状況

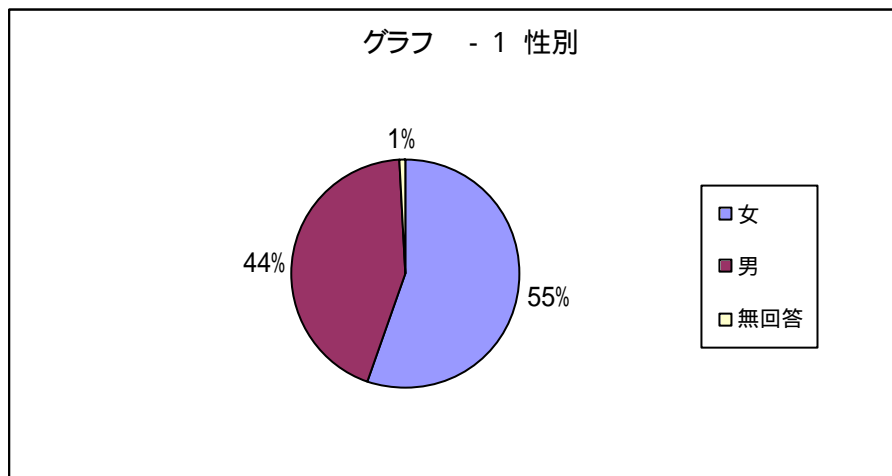
- (1) 回収件数 1,036件 (発送件数 2,000件)
- (2) 回収率 51.80%

2 集計結果

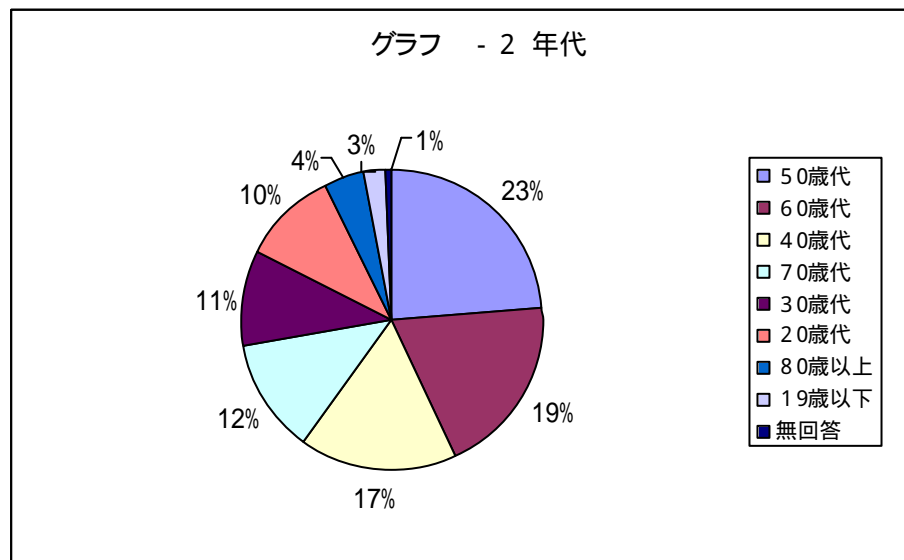
基本集計

回答者の属性

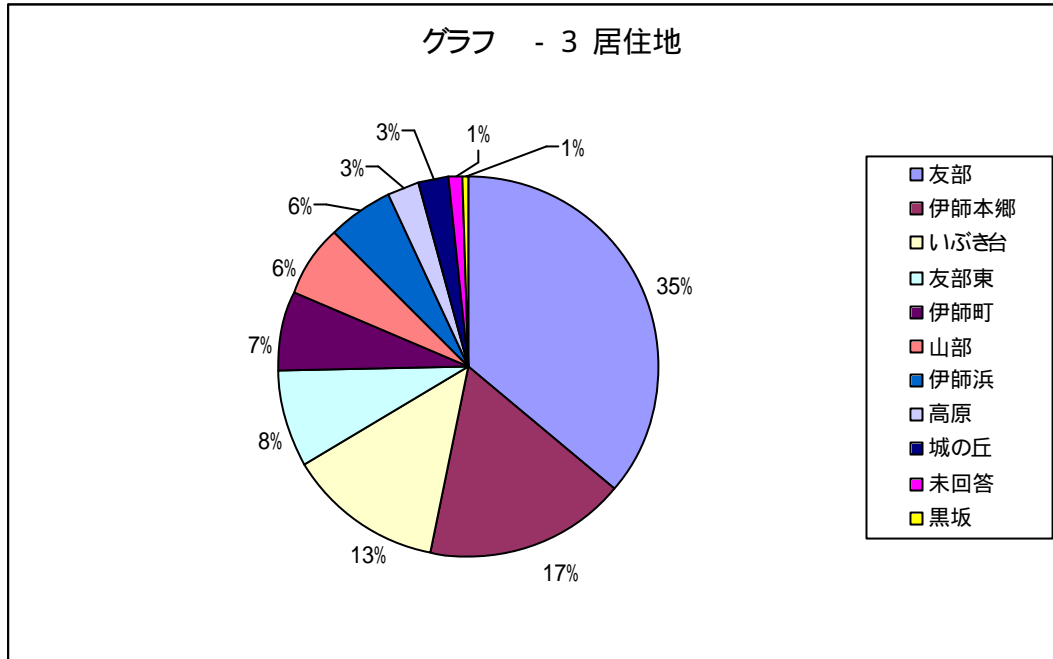
1) 性別



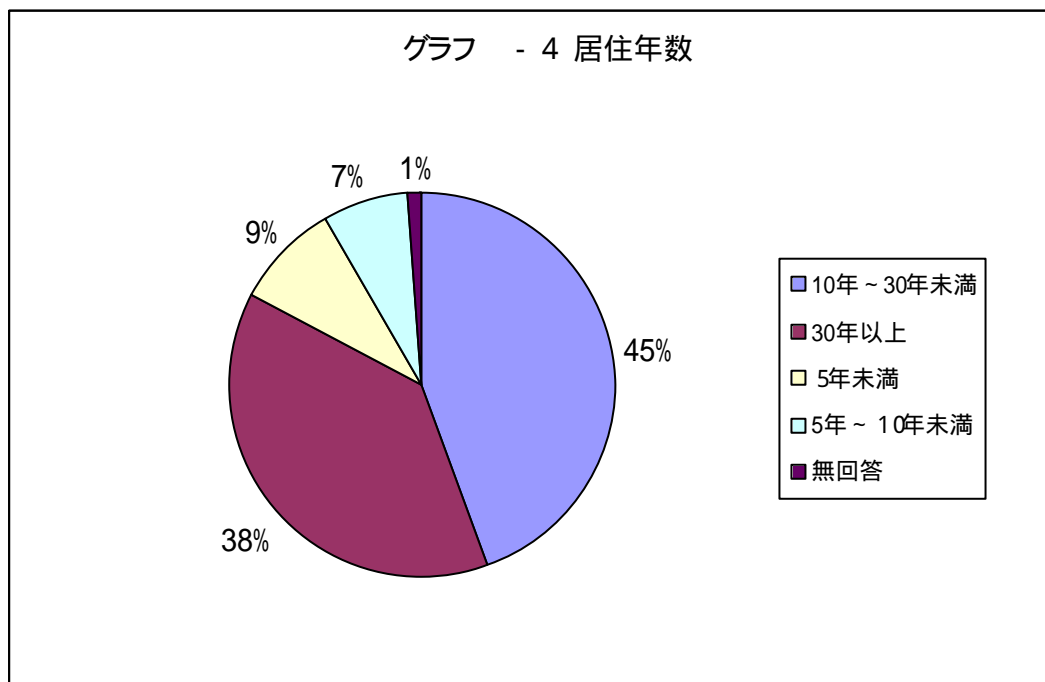
2) 年代



3) 居住地



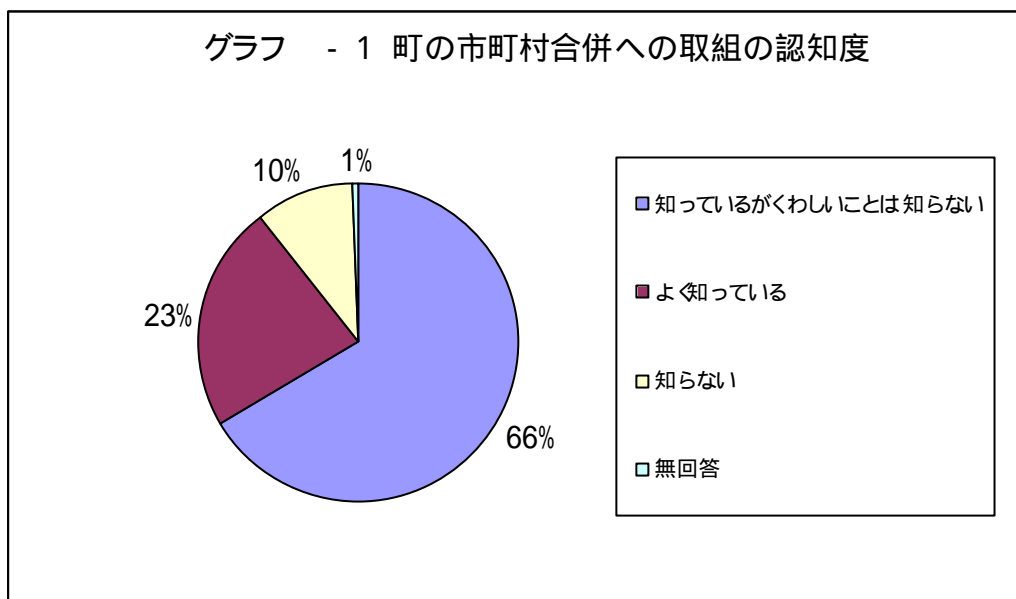
4) 居住年数



設問集計

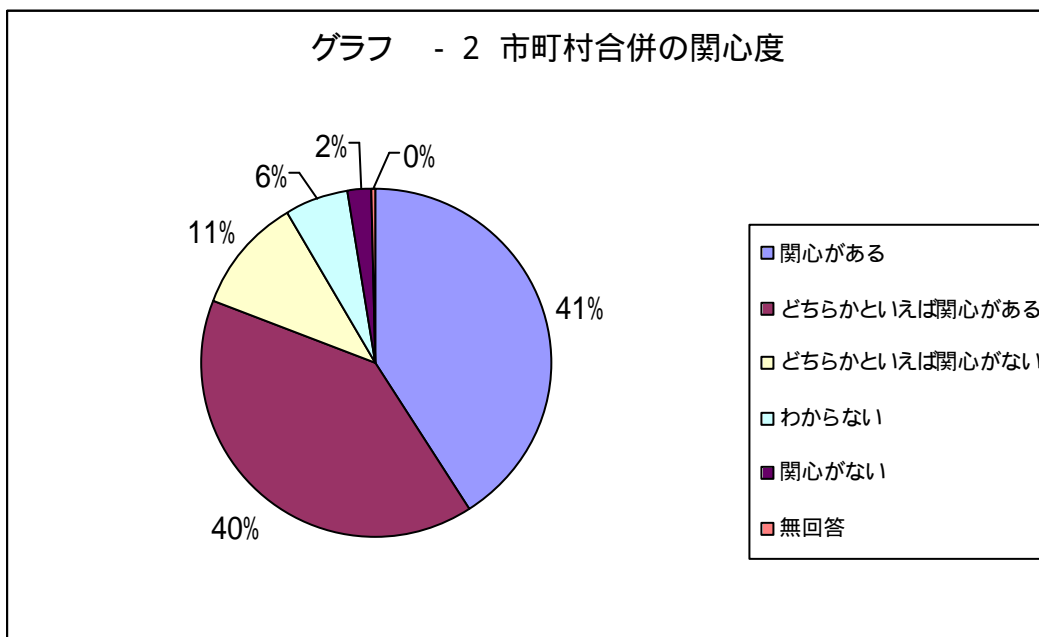
1) 町の市町村合併への取組の認知度【問5】

町がこれまで行ってきた市町村合併への取組の認知度を尋ねた問5においては、『知っているが詳しいことは知らない』という方を加えると、約9割の方が『知っている』という回答であった。



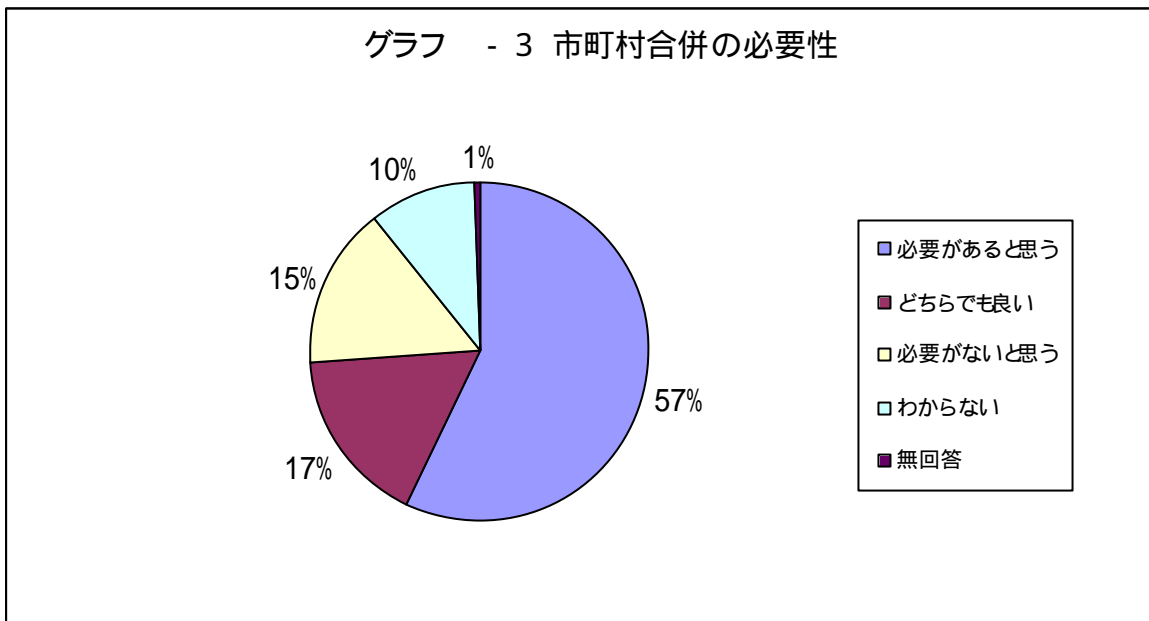
2) 市町村合併へ関心度【問6】

市町村合併の関心度合いについて尋ねた問6においては、『どちらかといえば』というものを含めると、約8割が『関心がある』ということで、『関心がない』(13%)という回答を大きく上回った。



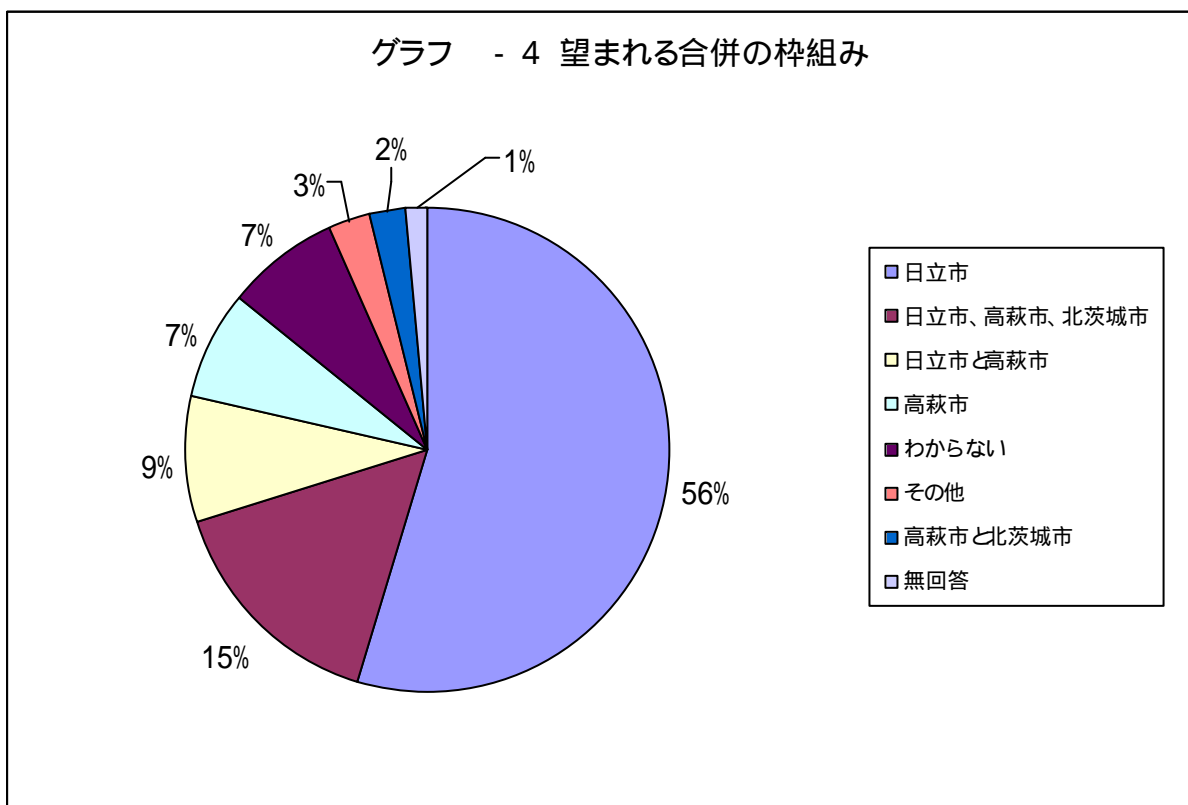
3) 市町村合併の必要性【問7】

これから先の町政運営を考えた場合の市町村合併の必要性を尋ねた問7においては、『必要がある』という回答が57%と、『必要がない』という回答の15%を大きく上回った。



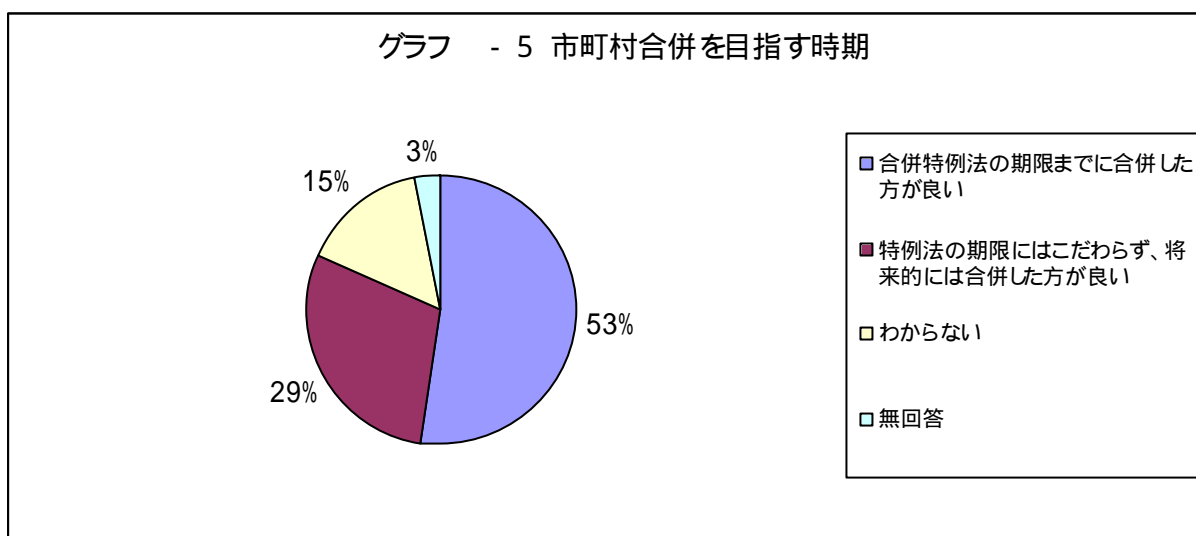
4) 望まれる合併の枠組み【問8】

十王町が合併を目指した場合の想定される枠組みについて尋ねた問8においては、『日立市』という回答が56%を占め、その他の枠組みを大きく上回った。



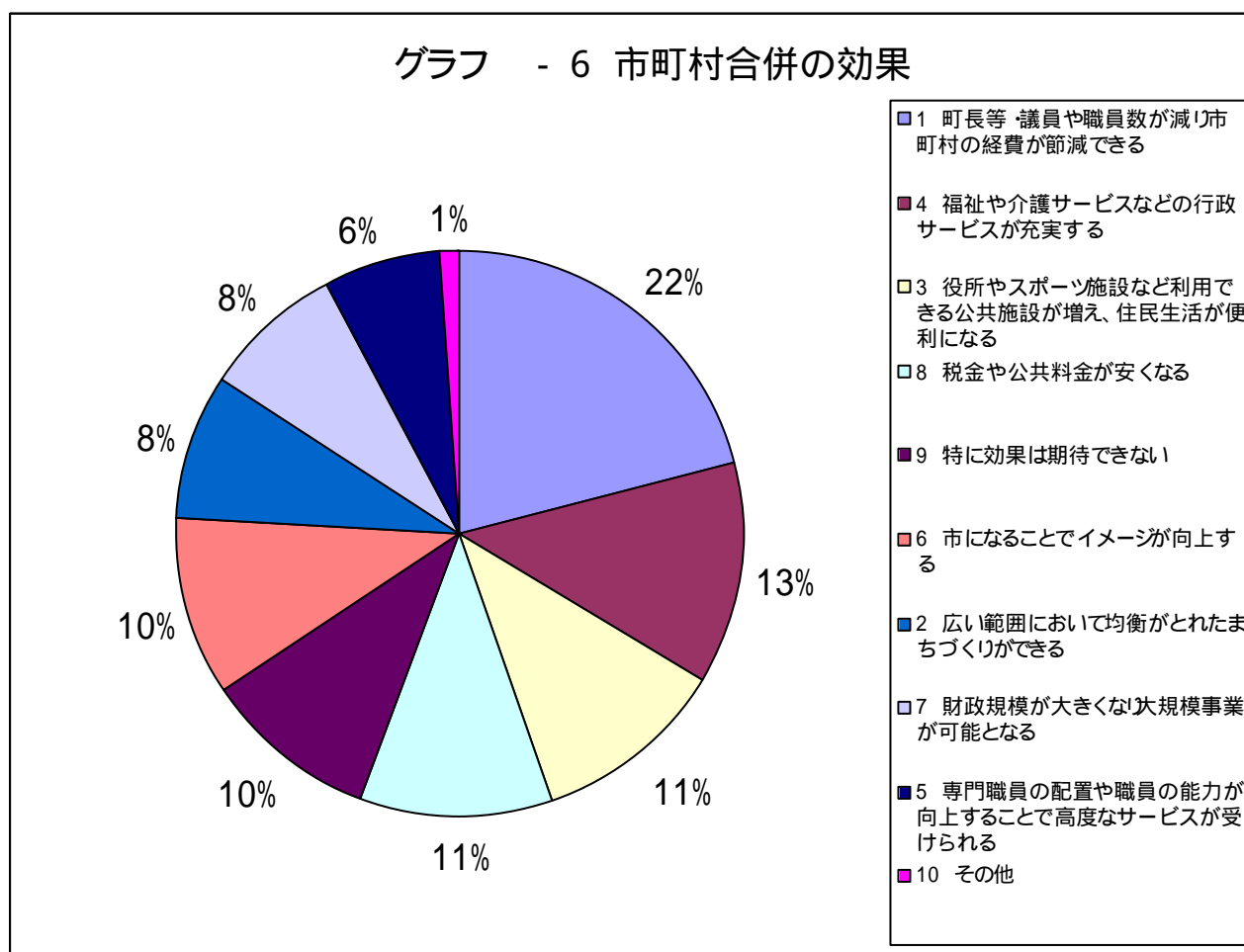
5) 市町村合併を目指す時期【問9】

町が市町村合併を目指す場合の合併する時期を尋ねた問9においては、53%が『特例法の期限内』での合併を望み、『特例法の期限にはこだわらないが将来的には合併した方が良い』という回答(29%)を上回った。



6) 市町村合併の効果【問10】

合併を行った場合の効果について尋ねた問10においては、『特別職や議員、職員が減り、経費が節減できる』という回答が最も多く(22%)、その他の設問については、ほぼ同程度の割合で分散した回答が得られた。



7) 市町村合併の不安【問11】

合併を行う際の不安について尋ねた問11においては、『行政区域が広くなり住民の声が行政に届きにくくなる』という回答が最も多く(22%)、次いで、『中心部だけが発展し、周辺部が取り残される』(19%)、『十王町の名称がなくなり、地域独自の文化や風習がなくなる』(15%)との回答が続いた。

